

議 事 録

会議名	町史編集委員会		
日 時	平成25年12月26日(木)15:00～17:00	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：圭室委員長、木村委員、鳥養委員、大口委員、内海委員 事務局：小島館長、高木主幹、神主任主事 傍聴者：なし		
議 題	(1) 平成25年度事業中間報告について (2) 平成25年度の刊行物について (3) 平成26年度の事業計画について		
決定事項	(1) 平成25年11月末現在の事業結果について報告した。 (2) 平成25年度刊行物のうち、町史研究第26号の内容について決定した。 (3) 平成26年度の事業計画案について、編集委員会として了承した。		
議 事	<p>(1)平成25年度事業中間報告について</p> <p>○資料1にもとづき、平成25年11月末現在の事業中間結果報告を事務局より説明したところ、次のような質疑があった。</p> <p>(委 員) 視察の受け入れはどのような手続きで行うか。 (事務局) 原則として文書で依頼を出してもらっている。図書館への視察のついでに来館した場合などは、文書館宛の文書はもらっていないものの、一覧表には加えている。</p> <p>(委 員) 天草市立天草アーカイブズからの視察については、そのレポートを町史研究に書いてもらってはどうか。 (事務局) 同じ市町村の公文書館の職員の眼に寒川文書館がどのように映ったのかを知ることは、我々としても参考になると思われるので、その旨を先方に依頼したい。</p> <p>(委 員) 文書館だより第14号の表紙に沼田頼輔の書状の写真を掲載したが、写真だけでは読みにくいので、2ページ目の解説で書状の文面を翻刻すべきだったのではないか。 (事務局) 次号でそれをフォローするよう検討したい。</p>		

(2)平成 25 年度の刊行物について

- 資料 2 にもとづき、平成 25 年度に発行する刊行物のうち、特に町史研究第 26 号の構成について事務局案を説明した。大枠は了承されたが、特集の総論として「はじめに」の原稿が必要との指摘があり、内海委員が執筆することになった。
- 調査報告書「浜降祭日記(4)」については、冒頭の解説を圭室委員が執筆することが確認された。
- その他の刊行物については、中間報告で説明したとおりで、とくに質問、意見は出なかった。

(3)平成 26 年度の事業計画について

- 事務局案について編集委員会としての意見をだしていただき、それを反映させながら、1 月下旬に開催予定の文書館運営審議会において決定したい、という趣旨を述べ、内容を説明した。これに対し、つぎのような質疑があった。

(委 員)「人材の確保」の項で、専門職員の配置を引き続き検討すると書かれている。これは館運営にとって大変重要なことからであるので、ぜひしっかり行ってほしい。

(事務局) そのように努力したい。

(委 員) 12 月 6 日、特定秘密保護法が成立したが、市町村の持つ公文書についてその網がかかるものがないか懸念している。もし対象になるものがあるならば、例規の検討を進める際、その点に気をつけてほしい。

(事務局) 寒川町の公文書の場合、米軍基地に関するものなど同法の網にかかる文書が発生する可能性は極めて低いので、新たな例規の検討は従来の文書取扱規程や情報公開制度をベースに進めていきたい。

(4)その他

- 圭室委員が藤沢市の「公文書等管理に関する有識者会議」の委員に就任したので、同会議の状況について報告していただいた。同会議は本年 10 月に始まり、来夏まで全 8 回の予定で議論を重ね、市への提言書を提出する予定である。11 月に 2 回目を終えたところなので、本格的な議論はまだこれからである。これまでの市は、市職員に対し公文書への意識を高めるため研修やアンケートを積極的に行ってきたので、それを踏まえてこれから議論していきたいとのことである。
- 次回会議は平成 26 年 7 月ごろとし、日程は後日調整することになった。

	○会議録の署名は大口委員が指名された。	
資 料	1 平成25年度寒川文書館事業中間報告 2 平成25年度の刊行物について 3 平成26年度寒川文書館事業計画	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	大 口 勇 次 郎	(平成 26 年 2 月 1 日確定)